

Remainders of an Ideal:
The Vision and Practices of
HUNDE
WASSER

感動百貨店
日本橋三越本店



Photo by Augustin Duma
©Hundertwasser Archive, Vienna

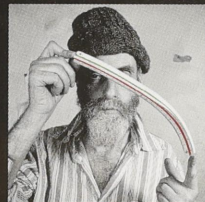


Photo by Gerhard Krömer
©Hundertwasser Archive, Vienna



森の下にぶらさがっている家々 1971年 ©Gruener Janura AG, Glarus/Switzerland

人と自然の共生 — ある芸術家の理想と挑戦

フンデルト ヴァッサー展

2007年2月27日[火]～3月11日[日]

日本橋三越本店 新館7階ギャラリー

入場料:一般・大学生900円/高校・中学生700円
(小学生以下無料・税込)

午前10時～午後7時30分【最終日は午後6時閉場、ご入場は閉場30分前まで】

主催/NHKサービスセンター 後援/オーストリア大使館、NHK
特別協力/クンストハウスウィーン、フンデルトヴァッサー・アーカイヴ
協力/日本航空 企画協力/アプトインターナショナル

21世紀は、この天才に追いつくだろうか。



MITSUKOSHI
日本橋本店

「あなたは自然のお客だ」と語る芸術家フンデルトヴァッサー。

彼にとって創作とは人と自然の共生方法を模索することでした。

その活動は、絵画、版画に限らず、建築デザイン、

そしてエコロジー運動にまで及びました。

自らドイツ語で「百の水」を意味する

フンデルトヴァッサーと命名するなど、

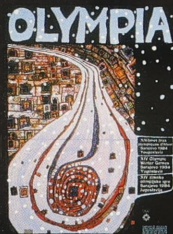
奇想天外な発想で常に周囲を驚かせました。

また、作家の他界後も、その鮮やかな色彩と渦巻く線は、

人と自然の物語を鮮烈に語り続けています。

本展は、この異才ともいえる芸術家の軌跡を辿る

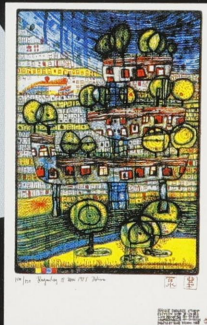
大規模な展覧会です。



オリンピア サラエボ 1983年
©Gruener Janura AG Glarus/
Switzerland



雨にキトウのいる涙の渦巻き 1962年
©Gruener Janura AG, Glarus/Switzerland



終わりのなき街 1988年
©Gruener Janura AG, Glarus/Switzerland



蝉凰 1989年
©Gruener Janura AG, Glarus/
Switzerland



©2006
Hundertwasser Archive, Vienna

BIOGRAPHY

- 1928年 ウィーンに生まれる。
- 1943年 ユダヤ系である母方の親戚69人が東欧に強制送還される。
- 1948年 ウィーン美術アカデミーで3ヵ月を過ごす。
- 1950年 パリに滞在。シンイチ・タジリとの交友が始まる。
- 1952年 ウィーンで最初の展覧会を開催。
- 1957年 ノルマンディー地方に古い家を購入。
- 1961年 日本に滞在。
- 1962年 日本女性と結婚(1966年離婚)。
ベニスにアトリエを構える。
- 1968年 古い木造船を購入し、「雨の日丸」と命名。
- 1971年 ミュンヘンオリンピックのポスターを制作。
- 1973年 制作に11年を費やした「七百水」の木版画が完成。
- 1975年 2作目の木版画集「緑の涙」制作。
- 1977年 世界巡回展を東京でも開催。
- 1985年 ウィーン市の市営アパート「フンデルト・ヴァッサーハウス」の建築に携わる。
- 1989年 世界巡回展を日本でも開催。
- 1991年 「クストハウス・ウィーン」落成。
- 1992年 東京のTBSに21世紀カウントダウン時計を設置。
- 1998年 東京、京都、千葉で展覧会開催。
- 1999年 日本4ヵ所で巡回展を開催。
- 2000年 ウィーン・エリザベス号で太平洋を航海中に逝去。